



蒲原児童クラブ だろんこ

出前授業レポート

「根気のいる作業も、最後まで楽しく活動することが出来ました。」

蒲原児童クラブだろんこが、春休みに、昔の生活を体験し学ぶことを目的に、1年生から4年生までの34人が、勾玉作りと火起こしの2つの体験を行いました。

勾玉作り体験

・「簡単だと思っていたけど、難しかった。」

勾玉作りが初めてという子が多かったので、勾玉の歴史について簡単に話しました。形や用途など勾玉について学習した後、3枚の紙やすりの使い方を説明し、3・4年生は粗い紙やすりで石を削り始めました。

・「大変だったけど、きれいなものができて、うれしかった。」

・「たくさんやすりで削って、大変だったけど、ピカピカに仕上がった勾玉が出来て、作ってよかったと思った。」

低学年は、削る量を少なくして済むように、あらかじめ多めに削ってきた石を、第2段階の細かい紙やすりから始めました。きれいな形が出来るまで根気よく削ることが出来、みんな形の良い勾玉を作っていました。表面の傷を取って、第3段階の紙やすりで磨きを頑張りました。最後に蛍光ペンで色を着けて、紐をしばり出来上がりです。ピカピカに仕上がった勾玉を首からさげて、とてもうれしそうにしていました。



火起こし体験

・「今は電気があるので便利だけど、昔は料理をするのにも火を起こしたので、大変だなと思った。」

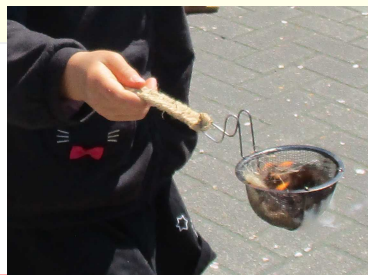
・「火を起こすのは難しかった。」

・「みんなと力を合わせて、楽しかった。」

・「今と違い、大変だった。」

この日は晴れて風もなく暖かかったので、火起こしをするのにはもってこいでした。初めに、もみきり式や弓きり式、舞いきり式等、火起こしにもいろいろな方法があることを伝えました。

舞いきり式でデモンストレーションをしながら火起こし器の使い方を説明しました。次は子どもたちが火起こしに挑戦です。今回は中・低学年だけなので、弾み車を上手く回せるか心配でしたが、みんなで協力しながら弾み車を回し、火種を作ることが出来ました。火種を火口に移して息を吹きかける時、なかなか燃え上がらず苦労しているグループもありましたが、どのグループも1回以上は火を起こすことができました。苦労したけど、火が起こせてうれしかったようです。



指導員の感想

「古代の生活や文化を知り、仲間と協力して体験することが出来ました。勾玉作りや火起こしの体験を通して、現代の生活の便利さを改めて感じる事が出来ました。勾玉作りなど根気のいる作業も、センターの職員さんが励ましの言葉をかけてくださり、最後まで楽しく活動することが出来ました。」

